

リサイクル燃料備蓄センター設工認
設 1-補-013
2021 年 5 月 26 日

リサイクル燃料備蓄センター  
設計及び工事の計画の変更認可申請書  
(補足説明資料)

電気設備に関する補足説明

令和 3 年 5 月

リサイクル燃料貯蔵株式会社

## 目次

1. 目的	1
2. 無停電電源装置・共用無停電電源装置の構造と 運用について（設1-補-013-01）	1
3. 外部電源喪失時の電源車からの給電について（設1-補-013-02）	1
4. 軽油貯蔵タンク（地下式）の構造について（設1-補-013-03）	1
5. 予備緊急時対策所への給電方法について（設1-補-013-04）	1
6. 予備電源設備の容量について（設1-補-013-05）	1

## 1. 目的

設計及び工事の方法の認可申請書（以下「設工認申請書」とする。）の第1回分割申請では電気設備を申請し、電気設備の技術基準への適合性を説明する資料として「添付 15-1 電気設備に関する説明書」と「添付 16-6 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（電気設備）」を添付し、電気設備の設計方針や仕様の設定根拠について説明している。本補足説明資料は、2つの添付では記載されていない運用方法や詳細設計を説明する。

## 2. 無停電電源装置・共用無停電電源装置の構造と運用について（設1-補-013-01）

無停電電源装置・共用無停電電源装置の構造と運用について（設1-補-013-01）では、無停電電源装置と共用無停電電源装置が外部電源喪失後に電源車から給電する際に大きな入力電力を必要とする理由と、共用無停電電源装置は大きな入力電力となることによる電源車の過負荷を避けるためにメンテナンスバイパス運用を行うことから、その手順を説明する。

## 3. 外部電源喪失時の電源車からの給電について（設1-補-013-02）

外部電源喪失時の電源車からの給電について（設1-補-013-02）では、電源車からリサイクル燃料備蓄センター内に給電する際、メカニカルインターロック機能を有している移動電源車接続箱を用いることから、使用方法を説明する。また、外部電源喪失時の電源車への給油には軽油貯蔵タンクの計量機を使用できないことから、給油方法を含む運用について説明する。また、電源車の燃料タンク容量に関して見直しを行っており、見直し内容についても説明する。

## 4. 軽油貯蔵タンク（地下式）の構造について（設1-補-013-03）

軽油貯蔵タンク（地下式）の構造について（設1-補-013-03）では、軽油貯蔵タンク（地下式）は消防法に基づき設計することから、消防法の地下タンク貯蔵所の基準に基づく構造について説明する。

## 5. 予備緊急時対策所への給電方法について（設1-補-013-04）

電源車は、津波襲来後の活動拠点となる予備緊急時対策所に給電できる設計とすることから、給電する際の具体的な方法について説明する。

## 6. 予備電源設備の容量について（設1-補-013-05）

予備電源の各設備の容量は「添付 15-1 電気設備に関する説明書」と「添付 16-6 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（電気設備）」で説明しているが、記載の充実を図る観点から、補足説明を行う。

以上